

16春闘勝利・運動前進に向け方針決定

県職連合第19回・県職労第114回臨時大会開催

岩手県職労

月2回刊=1456号
2016年3月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジロー印刷企画 一部 40円
組合員購読料は組合費に含む



春闘勝利へ団結ガンバロー

15確定闘争からの継続課題改善、各級選挙 闘争勝利に向けた取り組みも強化へ

県職労は2月27日、盛岡市の自治労若手県本部会議室において、県職連合第19回臨時大会及び県職労第114回臨時大会を開催した。委任状出席含む94人（代議員総数・県職連合94人、県職労93人）の代議員が出席。議長団に高橋秀樹代議員（気仙支部）、佐藤正昭代議員（北上支部）を選出し、16春闘要請、当面するたたかいなどの運動方針を決定した。

冒頭、小野中央執行委員長から「2015賃金改定・差額支給が年度末となる異常な事態となった。更に給与制度の総合的見直しは制度導入時の現給保障対象者が県職員の5割、期間満了後に賃金回復できない組合員が多数に上ることが明らかであるにもかかわらず当局が具体的な対応策を示さないことは極めて問題だ。恒常的な欠員で職場環境が悪化し負の連鎖が続く。

象者が県職員の5割、期間満了後に賃金回復できない組合員が多数に上ることが明らかであるにもかかわらず当局が具体的な対応策を示さないことは極めて問題だ。恒常的な欠員で職場環境が悪化し負の連鎖が続く。

その後執行部から確定闘争総括、春闘方針、政治闘争をはじめとした当面の闘争方針等の議題を提起し、6支部10人の代議員から方針補強の発言を受けた。発言に対し執行部から16春闘

超勤手当の適正支給 県南四支部合同の独自要請書を作成するに当たり組合員向けアンケートを行った。超勤手当について、所属長による事前命令が徹底し、人員確保

水産技術センターとして船舶職員の1人増と非常勤職員2人の先行採用に向けて所属長交渉を実施してきた。北上丸・岩手丸とも機関士が基準ギリギリであり、休暇等の場合に対応できない。人員確保に向け継続して要求していく。

組織強化 組織を牽引する役員育成をはじめ組合員の意識醸成のため労働者を取り巻く情勢や合理化攻撃の本質などの学習の強化が必要だ。ハラスメント対策 職場で心の病を持つ組合員が増えている。ハラスメント対策の強化を。

大船渡市議選・県職労組織内候補

平田ミイ子 決意表明・支持拡大を訴える



政治報告と決意を述べる平田ミイ子大船渡市議

強化や、男女共同参画社会の実現などこれまでの活動実績を報告し、

県職労臨時大会では、4月17日告示・24日投票の大船渡市議選に県職労組織内候補として7期目に挑戦する「平田ミイ子」さんから災害弱者への生活支援の

現在の情勢は定数20人に対して24人前後が立候補すると見込まれ、非常に厳しい状況が予想される。友人・知人への支持拡大を

労働者や女性の声を市政に届け、安心して生活できる地域づくりを実現していくためにも、唯一の女性議員として引き続き議会で活動していく決意を表明。組合員の協力と支持拡大を訴えた。

本部と連携して職場課題の改善をめざすことを確認した。

職場課題の改善へ本部と連携

税務協が定期総会開催

税務職員協議会（会長・熊谷勝文（盛岡県税部））は3月5日、盛岡市北ホテルで定期総会を開催した。業務量は増加する一方、一



税務職場の改善に向け意思統一した定期総会

本部と連携して職場課題の改善をめざすことを確認した。さらに福島第1原発事故による放射能問題も解決されない中、原発再稼働を進めるのも極めて問題だ。私たちが求める政治とはほど遠い。教訓を踏みにじり、逆行する政策に突き進む安倍政権にこれ以上政権を任せられない。この節目の年に被災地から政治を変え、政治闘争を強化しよう。



だから明日に備えなさい！
明日は明日の風が吹く...
入院は日帰りからお支払い、ケガのときは通院だけでも保障 組合員同士の助け合いの輪にあなたもぜひ！
お問い合せ・お申し込みは組合へ
じちろうの団体生命共済
全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
全日本自治労労働者共済生活協同組合

第五世代

5年目となる3・11を迎えた。当時も人事異動内示目であったことであの時の記憶が蘇る。被災地ではまちづくり・住宅再建をはじめとした復興が進められているが、目標にはほど遠く、復興が思うように進まないことへの焦りや不安を訴える住民も多い。職員も大規模な欠員が生じる状況で、復興関連業務等の加重労働を強いられ、心身ともに疲弊するなか踏ん張ってきた。その結果、体調不良や精神疾患となってしまう仲間も少なくない。しかし、今東日本大震災の教訓が蔑ろにされている。政府は、復興が道半ばにもかかわらず復興事業に地元負担を求め、被災時に職員が絶対的に不足していた事実を顧みず、一層の合理化をすすめる自治体に地方交付税を手厚く配分するトップランナー方式の採用など復興に水を差している。さらに福島第1原発事故による放射能問題も解決されない中、原発再稼働を進めるのも極めて問題だ。私たちが求める政治とはほど遠い。教訓を踏みにじり、逆行する政策に突き進む安倍政権にこれ以上政権を任せられない。この節目の年に被災地から政治を変え、政治闘争を強化しよう。

3.4県職労独自要求書提出・春闘交渉 II 埋まらぬ欠員、新年度も140人弱!

県職労 改めて抜本的な業務縮減を求める

県職労は3月4日、春闘要求として知事あて「賃金・労働条件等の改善にかかわる要求書(県職労独自課題)」を菊池人事課長に提出し、15確定闘争で継続課題となっている賃金改善・人員確保を中心に交渉を行った。

◎人員課題

来年度の人員について当局は新規採用数が220人規模となること、他県からの応援職員も本年とほぼ同規模の160人の確保見通しとなったことを明らかにした。かつ現時点での今年度未退職予定者182人(うち普通退職16人)を示したものの、年度当初の時点で欠員が約140人弱見込まれることを明らかにし、根本的な解決に至らないことを釈明、欠員解消に



人事課総括課長に「春闘要求書」を提出し交渉する本部執行部(上)、新年度も当初から140人弱の欠員が見込まれるなどと述べる人事課総括課長(下手前)

◎超勤課題

現場では超勤予算が不足し、サービス残業が恒常化していることを追及、対策を求めた。当局は12月補正で各局からのヒアリングをもとに予算措置したと回答。来年度も団体対応を含め、今年度当初比で約2億2千万円余の増額となることを明らかにした。交渉団からは現場では超勤の事前命令が徹底されず、残業しても事後に対象外と判断され支給されなかった等の不適正事案を指摘。人事課長からこうした事案を正すとともに、超勤実態の正確な把握に努めるとの回答を引き出した。

◎今後の課題

昨年4月当初の大規模欠員の解消について、厳しい職場実態や職員の切実な要望をもとに当局に求めてきた。しかし1年以上も大規模欠員が継続する見通しとなったことは当局側の対策が極めて不十分なものであり、当局の責任は極めて大きい。その他の賃金・職場課題の改善についても、組合員の実態と当局の認識に依然隔たりがある。欠員解消はもとより、組合員一人ひとりの要求の改善に向け、春闘はもとより、来たる人事委員会闘争や人員確保などあらゆる取り組みを進めていく。

◎人事異動内示

赴任期間7日間の保障とともに、早期着任が重要とされないよう求めた。これに対して当局は職員の移動の状況等に配慮し、新所属と十分協議して着任日を決めていただきたいとした。

2016新年号クイズ 当選者発表

県職労機関紙「新春プレゼントクイズ」には80通の有効応募(複数応募は1枚に選別)があり、うち78通が全問正解でした。

《クイズの正解》

Q1 ⑤食鳥検査手当

Q2 ④県人勸、人員不足解消策を問う!

Q3 ⑤猿に絵馬

(「猿に木登り」のことわざもあることが判明したため、酷似している④「猿の木登り」と回答したハガキも正解としました)

抽選の結果、次の15人の方々が当選されました。

【特別賞】清温荘宿泊券

林 春彦さん
(宮古支部・林務室)

【花巻支部賞】

【白金豚まるごとセット】

菅原 孝彦さん
(花巻支部・遠野土木センター)

【北上支部賞】

【きたかみ牛のすき焼き用肉70g】

西島 聡子さん
(一関支部・一関児童相談所)

【胆江支部賞】

【いわて奥州牛】ステーキ

荒屋 良一さん
(一関支部・一関総務センター)

【一関支部賞】

【ソーセージ】詰め合わせ

中野 俊成さん
(胆江支部・奥州農業改良普及センター)

【図書館カード】千円分

柏原 一成さん
(一関支部・農産園芸課)

小成 晴紀さん
(県庁支部・林業振興課)

矢羽々 有さん
(県庁支部・健康国保課)

菊池 浩之さん
(盛岡支部・盛岡農業改良普及センター)

太田 浩さん
(盛岡支部・林業技術センター)

鈴木 清紀さん
(北上支部・花巻保健福祉環境センター分室)

佐藤 宏幸さん
(宮古支部・宮古土木センター)



抽選を行う小野委員長(右)

青年・女性労働者の要求から賃金・職場改善を

県青年・女性16春闘総決起集会開催

3月6日、「2016春闘勝利青年・女性春闘総決起集会」が盛岡市のサンセール盛岡で開催され、平和環境県センターに結集する青年女性労働者51人が参加した。開会に当たり、主催者と

基調講演では月間労働組合編集長の松上隆明さんが2016春闘の課題について講演。安倍政権が進める「新三本の矢」や「異次元の金融緩和」等の経済政策が失敗していることを明らかにしたうえで、デフレ脱却のためには労働者の賃上げによる労働者の購買力を高める経済回復が不可欠であること、今春闘で連合が掲げる「格差是正」に向けて非正規労働者の処遇改善を

県職労は3月20日告示・27日投開票の北上市議会議員選挙での「平野あきの」・「星あつこ」の両候補の推薦を決定した。両候補は労働組合出身であり、政策として平和憲法の理念を尊重し、くらしの底上げ、雇用の拡大、子育て支援や

セーフティネットの拡充など住民一人ひとりが大切にされる社会の実現を掲げており、私たち労働者の声を市政に届ける議員として活躍が期待できる。北上市議選では定員26人に対して27人の立候補予定であり、少数激戦の厳しいたたかいが予想される。

また、4月の大船渡市議選での県職労組織内「平田ミイ子」、7月の参議院議員選挙での社民党党首「吉田ただとも」の勝利につながるためにも負けられない選挙である。組合員はもとより、家族や友人・知人への支持拡大をお願いする。

3月北上市議選 推薦候補者を決定!

平野あきの(新人) 星あつこ(現職・3期) 必勝めざしー 支持者の拡大にご協力を!

3月20日告示 / 3月27日投開票



平野あきの (48歳・新人)

北上市職労執行委員長、自治労県本部書記次長を歴任するなど30年にわたり自治労運動の一翼を担う。昨年9月の県議選で初当選した佐藤ケイ子さんの後任として市議会に初挑戦。自治労労働者の立場から住民本位の政策を公約に掲げる。自治労県本部組織内候補。



星あつこ (57歳・現職・3期)

出身単組は国労。3期12年の実績を活かし、平和憲法を護り、困窮者へのサポート体制の構築と子ども子育て支援の充実を公約に掲げる。社民党公認・平和環境和賀郡労センター推薦候補。

参院選闘争勝利

民意に寄り添う私たちの代弁者



吉田ただとも 忠智

- ・社民党党首
- ・参議院議員(比例代表)
- ・自治労組織内

www.tadatomoyoshida.jp



分代会討論のグループ発表のようす